

高 校 入 試

思考力の 特訓講座

～パターン別で入試の思考力・表現力問題に強くなる～

社会

CONTENTS

章名	単元名	ページ	学習日
1 章 資料と知識を結び付けて考える	1 地図・地形図を読みとる① 地理	2・3	/
	2 地図・地形図を読みとる② 地理歴史融合	4・5	/
	3 グラフを読みとる① 地理	6・7	/
	4 グラフを読みとる② 歴史	8・9	/
	5 統計を読みとる 地理	10・11	/
	6 年表を読みとる 歴史	12・13	/
	7 史料文を読みとる 歴史	14・15	/
2 章 資料を読みとって論理的に表現する	8 地図・地形図から考える	16・17	/
	9 グラフから考える① 公民	18・19	/
	10 グラフから考える② 地理	20・21	/
	11 グラフから考える③ 歴史	22・23	/
	12 統計から考える① 地理	24・25	/
	13 統計から考える② 公民	26・27	/
	14 年表から考える	28・29	/
	15 史料文から考える 歴史	30・31	/
3 章 課題を発見し、解決策を考える	16 図・しくみ図から考える	32・33	/
	17 グラフや統計からみつける 公民	34・35	/
	18 グラフや統計から考える 公民	36・37	/
総合問題	19 総合問題	38～40	/

6

年表を読みとる 歴史

ねらい 年表からできことの流れを読みとり、知識と結び付けて答えよう。

例題 次の年表や資料をみて、あとの問いに答えなさい。

年表

年代	できごと
1604年	①朱印船貿易が行われるようになる
1612年	幕府にキリスト教禁止令が出される
1613年	全国にキリスト教禁止令が出される
1616年A	ヨーロッパ船の入港を長崎・平戸に限る
1624年B	スペイン船の来航が禁止される
1633年C	幕府が特別に許可を出した船以外の海外渡航・外国に長く住んだ日本人の帰国が禁止される
1635年D	外国船の来航と貿易が長崎・平戸に限られる 日本人の海外渡航と海外からの帰国を禁止する
1639年E	(②) 船の来航を禁止する
1641年	平戸にあったオランダの商館を長崎に移す ③オランダ風説書の提出が始まる

ポイント1

キリスト教禁止令が出されていたことを理解する

ポイント2

スペイン船の来航が禁止されていることを理解する

ポイント3

キリスト教信者の反乱が起きたことがわかる

資料

一、幕府はキリスト教を禁止しているが、この禁教について理解しているのにもかかわらず、いまだに布教するため密航して来る者がいる。

一、キリスト教の信者が団結して反乱を起こしたので、幕府が鎮圧した。

以上の理由などにより、今後は来航を禁止する。

(寛永十六年の鎖国令)

ポイント4

幕府が風説書を提出させて海外の情報を独占していたことを理解する

- (1) 年表中の下線部①について、幕府が朱印船による貿易を積極的に拡大したことで、アジアのある地域では日本との関わりが強まった。このことによってこの地域にはどのような変化が起きたか、アジアの地域の呼び名を用いて簡単に書きなさい。

考え方 幕府が貿易を推進する方針であったことを受けて、西日本の大名や商人などが朱印状を持ち①の国々と貿易を行い、現地に移住する者も現れた。江戸時代の初期には、幕府は貿易を禁止していなかったことがわかる。

答

- (2) 年表の(②)にあてはまる最も適当な国を書きなさい。

考え方 年表から1613年には全国でキリスト教が禁止されたことがわかる。また、1624年にはスペイン船の来航が禁止されている。スペインや②はキリスト教のうちの③がさかんな国であり、③の教会の宣教師はアジアの国々での布教活動を行っていた。これらのことから、江戸幕府が国内でのキリスト教を禁止し、禁教を徹底するために、キリスト教の布教を行う国の船の来航を禁止して、それらの国との貿易をやめる政策をとっていたことが読みとれる。

答

- (3) 年表中の下線部③を提出させることで、江戸幕府は海外の情勢や動きに関する()を独占した。()にあてはまる最も適当な語を漢字2字で答えなさい。

答

- (4) 資料は幕府が出した法令である。この法令が出された年として最も適当なものを、年表中のA～Eから1つ選び、記号で答えなさい。

考え方 資料中の反乱とは1637年に起きた④のことであり、これを鎮圧したあとにこの法令を出している。

答

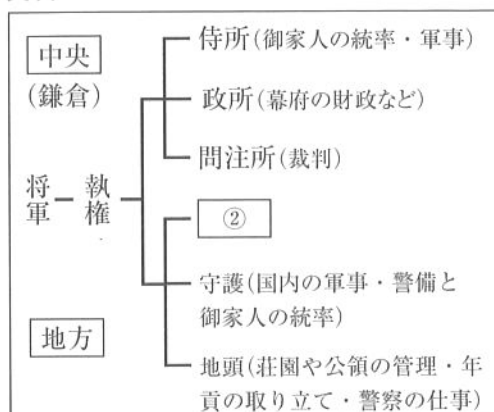
練習問題

1 次の年表や資料をみて、あとの問いに答えなさい。

年表

年代	できごと
1192 年	源頼朝が征夷大將軍になる
1203 年	北条氏が執権の地位につく
1221 年	(①) が起こる
1232 年	御成敗式目(貞永式目)が制定される

資料



□(1) 年表の (①) に入るできごとの説明にあてはまる最も適当なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 平泉^{ひらいずみ}を拠点として栄えて勢力を強めた奥州藤原氏^{おうしゅうふじわらし}が、幕府と対立した源義経^{みなもとのよしつね}をかばったという理由で幕府に攻撃され、滅びた。
- イ 後白河天皇^{ごしろかわ}と崇徳上皇^{すんとく}が対立し、そこに貴族内部や武士団間での争いも加わって戦いが起こったが、武力で後白河天皇側が勝利した。
- ウ 平氏一族^{へいし}は太政大臣などの朝廷^{ちやうてい}の重要な官職についていたが、源氏の軍に攻められて京都^{きやうと}を出て西日本に進み、本州西端での戦いで滅びた。
- エ 院政を行っていた後鳥羽上皇^{ごとば}が幕府を倒そうとして兵を挙げたが、幕府の呼びかけにより結集した御家人^{ごけにん}たちの軍に敗れた。

□(2) 資料は、鎌倉幕府^{かまくら}のしくみを示したものである。空欄②は年表の (①) のできごとのあとに置かれた機関である。この機関の名称を答えなさい。また、この機関を設置した目的として考えられることについて、次の空欄に入る文を簡単に書きなさい。

この機関は、幕府が_____ために新たに設置した。

機関 _____

空欄 _____

□(3) 年表中の下線部について述べたものとして最も適当なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 国を治めるしくみや幕府の役職の仕事の内容をまとめたものである。
- イ 国司や荘園領主^{じやうえんりやうしゆ}に納める年貢について定めたものである。
- ウ 武士の権利などを、それまでの慣習にもとづいてまとめたものである。
- エ 将軍と御家人の主従関係^{しゆじゆんかう}について、奉公と御恩の内容を示したものである。

解答と解説

社会

年表を読みとる 歴史

【255】 年表からできごとの流れを読みとり、知識と結び付けて答えなさい。

【256】 次の年表や資料をみて、あとの問いに答えなさい。

年代	できごと
1604年	① 朱印船貿易が行われるようになる
1612年	幕府にキリスト教禁止令が出される
1613年	全国にキリスト教禁止令が出される
1616年A	ヨーロッパ船の入港を長崎・平戸に限る
1624年B	スペイン船の来航が禁止される
1633年C	幕府が特別に許可を出した船以外の海外渡航・外国船の来航と貿易が長崎・平戸に限られる
1635年D	日本人の海外渡航と海外からの帰国を禁止する
1639年E	② 船の来航を禁止する
1641年	平戸にあったオランダの商館を長崎に移す ③ オランダ風説書の提出が始まる

【257】 年表中の下線部①について、幕府がキリスト教禁止令を出した理由を述べ、このことによりこの地域にどのような変化が起きたか、アジアの地域の呼び名を用いて簡単に書きなさい。

【258】 幕府が貿易を推進する方針であったことを受けて、西日本の大名や商人などが朱印状を持ち、東南アジアの国々と貿易を行い、現地に移住する者も現れた。江戸時代の初期には、幕府は貿易を禁止していなかったことがわかる。

【259】 幕府が貿易を推進する方針であったことを受けて、西日本の大名や商人などが朱印状を持ち、東南アジアの国々と貿易を行い、現地に移住する者も現れた。江戸時代の初期には、幕府は貿易を禁止していなかったことがわかる。

【260】 東南アジアに多くの日本人が移住して、各地に日本町（日本人町）ができた。

【261】 年表の（ ② ）にあてはまる最も適切な国を書きなさい。

【262】 年表から1613年には全国でキリスト教が禁止されたことがわかる。また、1624年にはスペイン船の来航が禁止されている。スペインや④ ポルトガルはキリスト教のうちの⑤ カトリックが主な国であり、⑥ の教会の宣教師はアジアの国々での布教活動を行っていた。これらのことから、江戸幕府が国内でのキリスト教を禁止し、禁教を徹底するために、キリスト教の布教を行う国の船の来航を禁止して、それらの国との貿易をやめる政策をとっていたことが読みとれる。

【263】 年表中の下線部③を提出させることで、江戸幕府は海外の情勢や動きに関する（ ）を独占した。（ ）にあてはまる最も適切な語を漢字2字で答えなさい。

【264】 資料は幕府が出した法令である。この法令が出された年として最も適切なものを、年表中のA～Eから1つ選び、記号で答えなさい。

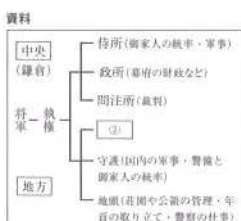
【265】 資料中の反乱とは1637年に起きた⑦ 島原・天草一揆 のことであり、これを鎮圧したあとにこの法令を出している。

【266】 E

練習問題

【267】 次の年表や資料をみて、あとの問いに答えなさい。

年代	できごと
1192年	源頼朝が征夷大将軍になる
1203年	北条氏が執権の地位につく
1221年	（ ① ）が起こる
1232年	御成敗式目（貞永式目）が制定される



【268】 年表の（ ① ）に入るできごとの説明にあてはまる最も適切なものを、次のA～Eから1つ選び、記号で答えなさい。

- A 平泉を拠点として栄えて勢力を強めた奥州藤原氏が、幕府と対立した源義経をかばったという理由で幕府に攻撃され、滅びた。
- I 後白河天皇と崇徳天皇が対立し、そこに貴族内部や武士団間の争いも加わって戦いが起こったが、武力で後白河天皇側が勝利した。
- ウ 平氏一族は太政大臣などの朝廷の重要な官職についていたが、源氏の軍に攻められて京都を出て西日本に進み、本州西端での戦いで滅びた。
- E 院政を行っていた後鳥羽上皇が幕府を倒そうとして兵を挙げたが、幕府の呼びかけにより結集した御家人たちの軍に敗れた。

【269】 I

【270】 資料は、鎌倉幕府のしくみを示したものである。空欄は年表の（ ① ）のできごとのあとに置かれた機関である。この機関の名称を答えなさい。また、この機関を設置した目的として考えられることについて、次の空欄に入る文を簡単に書きなさい。

この機関は、幕府が _____ ために新たに設置した。

機関 六波羅探題

空欄(例) 朝廷を監視するとともに、西日本の武士を統率する

【271】 年表中の下線部について述べたものとして最も適切なものを、次のA～Eから1つ選び、記号で答えなさい。

- A 国を治めるしくみや幕府の役職の仕事の内容をまとめたものである。
- I 国司や荘園領主に納める年貢について定めたものである。
- ウ 武士の権利などを、それまでの慣習にもとづいてまとめたものである。
- E 将軍と御家人の主従関係について、奉公と御恩の内容を示したものである。

【272】 ウ

P.12 例題

(1) 江戸時代の初め、徳川家康は貿易を行おうとする大名や商人に対して朱印状を発行し、貿易による利益の一部を幕府に納めさせた。家康は、朱印状を持つ船を保護するように、安南（ベトナム）、シヤム（タイ）、ルソン（フィリピン）などの東南アジアの国々に求めたため、この地域との貿易がさかんになり、現地に移り住む日本人も現れて、日本町（日本人町）ができるなどした。このころ、江戸幕府は朱印状を発行し貿易を許可することで、貿易を統制したが、禁止はしていなかった。

(2) 江戸幕府は貿易の利益を優先させて、キリスト教を黙認していた。しかし、信者の数が増え続けたため、団結して幕府に抵抗するのを恐れ、キリスト教を禁止する方針を固めて禁教令を出すにいたった。さらにキリスト教の普及に力を入れるカトリックの国であるスペインとポルトガルについては、船の来航を禁止した。

ヨーロッパでは、1517年にドイツで宗教改革が始まってプロテスタントの勢力が強まった。それに対してカトリック教会はイエズス会を設立するなどして、信者を獲得するためにアジアに進出して布教を行うようになった。日本にキリスト教を伝えたザビエルも、イエズス会の宣教師である。

幕府は、日本人が海外に渡ることと、海外にいる日本人が帰国することを禁止し、貿易をするヨーロッパの国は布教を行わないオランダに限り、その貿易および外交を幕府が独占して行う政策をとっていた。

(3) 江戸幕府は貿易だけではなく、海外の情報も独占した。オランダ人や中国人に対して、海外の情勢などの情報を風説書としてまとめ、提出するように求めた。その一方で洋書の輸入を禁止し、幕府以外が海外の情報を知ることができないようにした。

(4) 1637年に、キリスト教の禁止や領主の圧政に苦しんだ、天草や島原の農民などが反乱を起こした。この島原・天草一揆は半年間続き、これを受けて幕府は、1639年にポルトガル船の来航を禁止する法令を出した。

P.13 練習問題

【273】 (1) ①は承久の乱である。源氏の将軍が3代でとだえると、後鳥羽上皇は政権を朝廷に取り戻そうとして、源氏とのつながりが弱い西日本の武士などを集めて兵を挙げた。しかし、幕府軍に敗れ、上皇は隠岐に流された。よって、エが適当である。アの奥州藤原氏が源頼朝に滅ぼされたのは、1189年。イの後白河天皇と崇徳上皇の争いに、藤原氏や平氏、源氏のそれぞれが一族内部の対立によって加わったのは、1156年の保元の乱。ウの都を出た平氏が源氏と戦いながら西へ移動し、最後に壇ノ浦の戦いで滅びたのは、1183年から1185年にかけてのできごと。

(2) ①の承久の乱の後、六波羅探題が京都に置かれた。この機関は、朝廷を監視し、西日本の武士を統率するための機関で、鎌倉幕府の勢力が西日本でも強まるきっかけとなった。

(3) 御成敗式目（貞永式目）は、鎌倉幕府の執権であった北条泰時が1232年に制定したものである。鎌倉幕府の成立以降、武士の社会で行われてきた慣習や武士の道徳にもとづいて定められた。鎌倉幕府の御家人同士の争いや、御家人と荘園領主の争いなどに関するきまりごとで、守護や地頭の職務の内容や範囲、御家人の領地の相続のしくみ、犯罪に対する刑罰などを扱っている。朝廷や公家の社会に影響するものではないとされ、武士の社会のみに適用された。制定後の長い間武士社会の手本となった。よって、適当なものは、ウである。